

図書だより



2017 年 4 月 第 1 号 生野高校図書部



1 年生の皆さんご入学おめでとうございます。また、2、3 年の皆さん進級おめでとうございます。♪♪

もう、新しいクラスには慣れましたか？ 生野高校図書館では、毎月話題の新作本を取りそろえていますので、どうぞご利用くださいませ。(^)v お待ちしています。< (^) >

分類	書名	著者名	出版社
913.6	ラストレシピー麒麟の舌の記録―	田中 経一	幻冬舎文庫
〃	春、戻る	瀬尾 まいこ	集英社文庫
〃	ママの人生	和田 裕美	ポプラ社
〃	ヴァン・ショーをあなたに	近藤 史恵	創元社推理文庫
〃	タルト・タタンの夢	近藤 史恵	創元社推理文庫
〃	コーヒーが冷めないうちに	川口 俊和	サンマーク出版
〃	コンテキスト・オブ・ザ・デッド	羽田 圭介	講談社
〃	老乱	久坂部 羊	朝日新聞出版
〃	漂う子	丸山 正樹	河出書房新社
〃	絶対正義	秋吉 理香子	幻冬舎
〃	幸せのプチ	朱川 湊人	日本経済新聞出版社
〃	小説 ひるね姫～知らないワタシの物語～	神山 健治	角川文庫
〃	キトラ・ボックス	池澤 夏樹	KADOKAWA
〃	ある小説家をめぐる一冊	栗原 ちひろ	KADOKAWA
〃	砂漠の影絵	石井 光太	光文社
〃	ホルケウ英雄伝この国のいと小さき者（上・下）	山浦 玄嗣	KADOKAWA
〃	ビブリア古書堂の事件手帖 7	三上 延	メディアワークス文庫
〃	天上の葦（上・下）	太田 愛	KADOKAWA
〃	なかなか暮れない夏の夕暮れ	江國 香織	角川春樹事務所
〃	素敵な日本人	東野 圭吾	光文社
〃	i（アイ）	西 加奈子	ポプラ社
〃	出会いなおし	森 絵都	文藝春秋
〃	貴族探偵	摩耶 雄嵩	集英社
〃	貴族探偵対女探偵	摩耶 雄嵩	集英社
〃	ツバキ文具店	小川 糸	幻冬舎
〃	邪神に転生したら配下の魔王軍がさっそく滅亡しそう なんだがどうすればいいんだろう 5・6 巻	蟬川 夏哉(卒業生)	アルファポリス

913.6	Another（上・下）	綾辻 行人	角川スニーカー文庫
070	グローバル・ジャーナリズム	澤 康臣	岩波新書
141.74	認められたい	熊代 亨	ヴィレッジブックス
302.22	儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇	ケント・ギルバート	講談社 α 新書
311.7	ポピュリズムとは何か	水嶋 治郎	中公新書
312.1	日本の近代とは何であったか―問題史的考察―	三谷 太一郎	岩波新書
312.282	シリア情勢―終わらない人道危機―	青山 弘之	岩波新書
319.22	中国のフロンティア	川島 真	岩波新書
361	社会学入門―人間と社会の未来―	見田 宗介	岩波新書
361.4	モラルの起源―実験社会科学からの問い―	亀田 達也	岩波新書
361.45	まんがでわかる伝え方が 9 割	佐々木 圭一	ダイヤモンド社
361.65	日本会議の研究	菅野 完	扶桑社新書
367.21	京女の嘘―京都しあわせ倶楽部―	井上 章一	PHP新書
367.6	裸足で逃げる―沖縄の夜の街の少女たち―	上間 陽子	太田出版
369.31	魂でもいいから、そばにいて	奥野 修司	新潮社
370.4	すべての教育は「洗脳」である 21 世紀の脱・学校論	堀江 貴文	光文社新書
371.41	わかったつもり 読解力がつかない本当の理由	西林 克彦	光文社新書
379.7	ネットの高校はじめました。新設校「N 校」の教育革命	崎谷 実穂	KADOKAWA
450	地学ノススメ「日本列島のいま」を知るために	鎌田 浩毅	講談社ブルーバックス
488.99	カラスの常識	柴田 佳秀	寺子屋文庫
491.371	脳には妙なクセがある	池谷 裕二	扶桑社新書
599	家族ほど笑えるものはない	カフカヤマモト	KADOKAWA
779.14	最強のコミュニケーション ツツコミ術	村瀬 健	祥伝社新書
780.7	お腹やせの科学	松井 薫	光文社新書
783.6	たちあがるチカラ	別所 キミエ	ウィズワークス
783.7	栗山魂 14 歳の世渡り術	栗山 英樹	河出書房新社
837.8	会話もメールも英語は 3 語で伝わります	中山 裕木子	ダイヤモンド社
910.268	教師 宮沢賢治のしごと	畑山 博	小学館文庫
911.66	あの日、あの曲、あの人は	小竹 正人	幻冬舎文庫
913.3	中世王朝物語全集6 木幡の時雨／風につれなき	大槻修ほか	笠間書院
916	学校へ行けなかった私が「あの花」「ここさけ」を書くまで	岡田 麿里	文藝春秋
932.5	あらすじで読むシェークスピア全作品	河合 祥一郎	祥伝社新書
949.83	顔のない男―刑事ファビアン・リスク	アーンヘム・ステファン	ハーバーコリンズ・ジャパン
953	『レ・ミゼラブル』の世界	西永 良成	岩波新書

2 月・3 月と入試や蔵書点検などで図書館閉館が多かったので、新しい本を購入するのは久しぶりです。

なので今回はドツとたくさん注文しました。（リクエスト本も！） いっぺんには入ってきませんので、本屋さんが届けてくれた本から順次「新着本2の棚」に並べますね。





本の紹介



●あの日、あの曲、あの人は 小竹 行人 著 幻冬舎文庫

『スノードーム』のモチーフは登坂広臣の切ない恋の思い出だった。岩田剛典だけに話した、『最後のサクラ』の本当の結末。「HIRO さんと彩さんにサプライズで曲をプレゼントしたい」という、『Bloom』誕生のきっかけとなった EXILE ATSUSHI の一言など…。『花火』『Unfair World』を手がけた作詞家が明かす、名曲誕生の舞台裏。

●貴族探偵 摩耶 雄嵩 著 集英社文庫

信州の山荘で、鍵の掛かった密室状態の部屋から会社社長の遺体が発見された。自殺か、他殺か?捜査に乗り出した警察の前に、突如あらわれた男がいた。その名も「貴族探偵」。警察上部への強力なコネと、執事やメイドら使用人を駆使して、数々の難事件を解決してゆく。斬新かつ精緻なトリックと強烈なキャラクターが融合した、かつてないディテクティブ・ミステリ、ここに誕生!傑作 5 編を収録。ドラマでは、相葉雅紀さんが「貴族探偵」の役です。

●ラストレシピ 田中 経一 著 幻冬舎文庫

「人生の最後に食べる伝説のフルコース」。伝説のレシピを巡って 2000 年代と 1930 年代をめぐる料理ミステリーの映画「ラストレシピ ～麒麟の舌の記憶～」が 2017 年秋、公開です。原作はテレビのバラエティ番組「料理の鉄人」を手がけた田中経一の 2014 の小説「麒麟の舌を持つ男」。2000 年代のパートで絶対味覚を持つ天才料理人は嵐の二ノこと二宮和也。映画の役作りのために 2 ヶ月ほど渋谷の服部栄養専門学校に通いました。1930 年代のパートで絶対味覚を持つ料理人を演じるのは西島秀俊で、他にも宮崎あおい、綾野剛、竹野内豊など主演級がずらりと揃って伝説のレシピを追い求めます。監督は 2008 年の映画「おくりびと」で第 81 回アカデミー賞・外国語映画賞受賞という日本映画史上初の快挙を成し遂げた滝田洋二郎。豪華な陣容で中国の満漢全席に拮抗すると言われる幻のレシピ「大日本帝国食菜全席」をめぐる謎を追っていきます。

●コーヒーが冷めないうちに 川口 俊和 著 サンマーク出版

【2017 年 本屋大賞ノミネート作品!】

とある街の、とある喫茶店のとある座席には不思議な都市伝説があった。その席に座ると、望んだとおりの時間に戻れるという。ただし、そこにはめんどくさい……非常にめんどくさいルールがあった。

- 1.過去に戻っても、この喫茶店を訪れた事のない者には会う事はできない。
- 2.過去に戻って、どんな努力をしても、現実是不変。
- 3.過去に戻れる席には先客がいる。その席に座れるのは、その先客が席を立った時だけ。
- 4.過去に戻っても、席を立て移動する事はできない。
- 5.過去に戻れるのは、コーヒーをカップに注いでから、そのコーヒーが冷めてしまうまでの間だけ。

めんどくさいルールはこれだけではない。それにもかかわらず、今日も都市伝説の噂を聞いた客がこの喫茶店を訪れる。喫茶店の名は、フニクリフニクラ。あなたなら、これだけのルールを聞かされて、それでも過去に戻りたいと思いますか? この物語は、そんな不思議な喫茶店で起こった、心温まる四つの奇跡。あの日に戻れたら、あなたは誰に会いに行きますか?



●あらすじで読むシェークスピア全作品

河合 祥一郎 著

祥伝社新書

『マクベス』って、結局どんな話だったっけ?」日本人は意外と知らない。しかし欧米人は、誰もが知っている。

究極の教養——それが、シェイクスピア! 40 作品すべてと詩作品について、「あらすじ」「名セリフ」「作品のポイント」

「登場人物関係図」をわかりやすく掲載。つぎのセリフは、どの作品にあるものかわかりますか?

「最悪だなどと言えるうちは、まだ最悪ではない」「弱き者よ、なんじの名は女」「何事にも潮時というものがある」

「生きるべきか、死ぬべきか、それが問題だ」「まことの愛の道は、けっして平坦ではない」

「まずは、信じる心をもっていただかなければなりません」「慈悲とは、無理にしほり出すものではない」

「人生は歩く影法師、哀れな役者だ」「恋を語るなら、ささやいて」シェークスピアに手軽に触れたい時に便利な本である。

●素敵な日本人

東野 圭吾 著

光文社

短編も、東野圭吾。登場する人物がどこか知人に似ていたり、あなた自身にも経験のあるトラブルだったり、つい思い浮かべてしまう妄想の具現化だったり、読み心地はさまざま。ぜひ、ゆっくり読んでください。豊饒で多彩な短編ミステリーが、日常の倦怠をほぐします。

●邪神に転生したら配下の魔王軍がさっそく滅亡しそうなんだがどうすればいいんだろう 蟬川 夏哉 著

みなさんの先輩の作品です。はじめて手に取った時、なんと長いタイトルでどうしようと思ったけど、いよいよ完結です!



「2017 年本屋大賞」結果発表! おめでとう!!

「2017 年本屋大賞」(同賞実行委員会主催)に、恩田陸さん(52)の直木賞受賞作「蜜蜂と遠雷」(幻冬舎)が選ばれた。直木賞とのダブル受賞作は初めてで、4月11日に東京都内で開かれた贈賞式は、大きな盛り上がりを見せた。恩田さんは「直木賞を受賞した時点で、本屋大賞はもうないと思っていました」と感慨深げに語った。恩田さんがこう話すのには理由がある。本屋大賞は2004年に直木賞への対抗軸として誕生した賞だったからだ。大衆文学に与えられる直木賞は、純文学を対象とした芥川賞とともに最も権威ある文学賞に位置づけられている。芥川・直木賞を主催する日本文学振興会は文藝春秋社と関係が深い。これに対して本屋大賞は、出版社との関係は薄く、書店員有志で作る実行委員会が運営し、自分たちが売りたい本を選んでいる。受賞作は投票で選ばれる。1次選考で3作を選び、得点が多かった上位10作が2次選考に残る。投票者は10作を全て読んだ上で、順位を付けて3作に絞り込む。今年は全国から約560人の書店員が一次選考に参加した。

1 位; ↓ ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、そして音楽を描き切った青春群像小説。



2 位;みかづき(森絵都) 3 位;罪の声(塩田武士) 4 位;ツバキ文具店(小川糸)

7 位;i(西加奈子) 8 位;夜行(森見登美彦) 9 位;コンビニ人間(村田沙耶香)

10 位;コーヒーが冷めないうちに(川口俊和)

★上記の本は今回購入分も含めて生野高校図書館に揃っています。V